

(注) 本記載例の内容は、一人の申請者の状態を示しているわけではありません。

医師意見書（記載例）

記入日 令和〇年〇月〇日

訂正をされる場合、修正液・修正テープ等は、使用しないでください。

申請者	(ふりがな)	男・女	〒
	明・大・昭・平・令 年 月 日生(歳)		
上記の申請者に関する意見は以下の通りです。 主治医として本意見書がサービス等利用計画の作成に当たって利用されることに <input checked="" type="checkbox"/> 同意する。 <input type="checkbox"/> 同意しない。			
医師氏名			
医療機関名		電話 ()	
医療機関所在地		FAX ()	
(1) 最終診察日	平成・令和 〇年 〇月 〇日		
(2) 意見書作成回数	<input checked="" type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 2回目以上		
(3) 他科受診	<input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 精神科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> 泌尿器科 <input type="checkbox"/> 婦人科 <input type="checkbox"/> 眼科 <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科 <input type="checkbox"/> リハビリテーション科 <input type="checkbox"/> 歯科 <input type="checkbox"/> その他 ()		

1. 傷病に関する意見

マーカー部分は審査会の重要な判断材料になるため、必ずご記入ください。

1) 診断名 (障害の直接の原因となっている傷病名については1. に記入) 及び発症年月日

1. <u>〇〇〇症 (〇〇〇病)</u>	発症年月日 (昭和・平成)	<u>令和</u> 〇年 4月 1日頃)
2. <u>△△△病</u>	発症年月日 (昭和・平成)	<u>令和</u> 〇年 4月 1日頃)
3. <u>てんかん</u>	発症年月日 (昭和・平成)	<u>令和</u> 〇年 4月 1日頃)

入院歴 (直近の入院歴を記入)

1. 昭和・平成・ <u>令和</u> 〇年 4月 ~ 〇年 6月 (傷病名: <u>△△△病</u>))
2. 昭和・平成・令和 年 月 ~ 年 月 (傷病名:))

2) 症状としての安定性 { 不安定である場合、具体的な状況を記入。
特に精神疾患・難病については症状の変動についてわかるように記入。

〇〇炎は、半年~1年で再燃を繰り返している
関節痛、易疲労感は、体調、季節によって変動

3) 障害の直接の原因となっている傷病の経過及び投薬内容を含む治療内容
令和〇年に受診。検査の結果、〇〇〇症と診断。令和〇年10月から自宅療養。
令和〇年4月に△△△病を合併。〇〇炎は、ステロイド治療により軽快。再燃の可能性あり。
(現在〇〇〇〇を1日〇mg投与中、副作用による▽▽▽症状を認める) 関節痛、易疲労感は持続。

身体の状態に関する意見

1) 身体情報 利き腕 (右 左) 身長=160 cm 体重=60 kg (過去6ヶ月の体重の変化 増加 維持 減少)

2) 四肢欠損 (部位: _____)

3) 麻痺 右上肢 (程度: 軽 中 重) 左上肢 (程度: 軽 中 重)
右下肢 (程度: 軽 中 重) 左下肢 (程度: 軽 中 重)
その他 (部位: _____ 程度: 軽 中 重)

4) 筋力の低下 (部位: 四肢 程度: 軽 中 重)
(過去6ヶ月の症状の変動 改善 維持 増悪)

5) 関節の拘縮 肩関節 右 (程度: 軽 中 重) 左 (程度: 軽 中 重)
肘関節 右 (程度: 軽 中 重) 左 (程度: 軽 中 重)
股関節 右 (程度: 軽 中 重) 左 (程度: 軽 中 重)
膝関節 右 (程度: 軽 中 重) 左 (程度: 軽 中 重)
その他 (部位: _____ 程度: 軽 中 重)

(6) 関節の痛み (部位: 全身 程度: 軽 中 重)
(過去6ヶ月の症状の変動 改善 維持 増悪)

(7) 失調・不随意運動 上肢 右 (程度: 軽 中 重) 左 (程度: 軽 中 重)
体幹 (程度: 軽 中 重)
下肢 右 (程度: 軽 中 重) 左 (程度: 軽 中 重)

(8) 褥瘡 (部位: _____ 程度: 軽 中 重)

(9) その他の皮膚疾患 (部位: _____ 程度: 軽 中 重)

体調、季節によって変動

次頁の3行動及び精神等の状態に関する意見に関連記載項目があります。

この項目は、精神・知的障がいの方については必ず「1」から「5」のいずれかにチェックしてください。身体障がいのみが原因の場合は、「1」にチェックしてください。

3. 行動及び精神等の状態に関する意見

(1) 行動上の障害
 昼夜逆転 暴言 目傷 他害 支援への抵抗 徘徊
 危険の認識が困難 不潔行為 異食 性的逸脱行動 その他 ()

(2) 精神症状・能力障害二軸評価 **判定時期 平成・令和 〇年 〇月**
 精神症状評価 1 2 3 4 5 6
 能力障害評価 1 2 3 4 5

(3) 生活障害評価 **判断時期 平成・令和 〇年 〇月**
 食事 1 2 3 4 5 生活リズム 1 2 3 4 5
 保清 1 2 3 4 5 金銭管理 1 2 3 4 5
 服薬管理 1 2 3 4 5 対人関係 1 2 3 4 5
 社会的適応を妨げる行動 1 2 3 4 5

(4) 精神・神経症状
 意識障害 記憶障害 注意障害 遂行機能障害
 社会的行動障害 その他の認知機能障害 気分障害 (抑うつ気分、軽躁/躁状態)
 睡眠障害 幻覚 妄想 その他 ()
専門科受診の有無 有 () 無

(5) てんかん
 週1回以上 月1回以上 年1回以上

1. 傷病に関する意見 の診断名に「てんかん」と記載のある場合、関連記載項目になります。

4. 特別な医療 (現在、定期的あるいは頻回に受けている医療)

処置内容 点滴の管理 中心静脈栄養 透析 ストーマの処置
 酸素療法 レスプレーター 気管切開の処置 疼痛の管理
 経管栄養 (胃ろう) 喀痰吸引処置 (回数 回/日) 間歇的導尿

特別な対応 モニター測定 (血圧、心拍、酸素飽和度等) 褥瘡の処置

失禁への対応 カテーテル (コンドームカテーテル、留置カテーテル 等)

5. サービス利用に関する意見

(1) 現在、発生の可能性が高い病態とその対処方針
 尿失禁 転倒・骨折 徘徊 褥瘡 嚥下性肺炎 腸閉塞
 易感染性 心肺機能の低下 疼痛 脱水 行動障害 精神症状の増悪
 けいれん発作 その他 (ex. 記憶障害、注意障害)
 → 対処方針 (**バリアフリー、杖の使用、鎮痛剤 など**)

(2) 障害福祉サービスの利用時に関する医学的観点からの留意事項
 血圧について (ex. 血圧上昇時は入浴を避ける、起立性低血圧に注意)
 嚥下について (ex. 誤嚥防止できざみ食を提供、経管栄養が必要)
 摂食について (ex. よく噛むよう助言する、あればあるだけ食べてしまうのでコントロール必要)
 移動について (ex. 転倒に注意、長距離の移動不可)
 行動障害について (ex. 暴言や突発的な行動があり見守りを要す、衝動的に動き易いため周囲の注意が必要)
 精神症状について (ex. 抑うつ気分が再燃しやすい、意思疎通ができずカッとなり暴力を使うことが多い)
 その他 (ex. 重い物の持ち運びは介助が必要)

(3) **感染症の有無** (有の場合は具体的に記入)
 有 () 無 不明

本人の状況に応じ、必要により具体的に記載ください。「その他」は、障がい直接的な要因でないものも記載ください。

6. その他特記すべき事項

障害支援区分の認定やサービス等利用計画の作成に必要な医学的なご意見等をご記載してください。なお、専門医等に別途意見を求めた場合はその内容、結果も記載してください。(情報提供書や身体障害者申請診断書の写し等を添付して頂いても結構です。)

ex1. 関節痛、易疲労感は、体調、季節によって変動。悪化の時はADL低下。

一人暮らしのため、家事の援助が必要。QOLの改善が期待できる。

ex2. 重度の記憶障がいや注意障がいがあり日常生活に常に見守りを要し、就労は困難である。

その他、ご本人の状態状況等について、些細な事でも気付いた点を記載してください。